

ドイツ料理教室に参加して

会員 佐合千佳子

春風が爽やかに吹く5月20日の午後、ガブリエーレ・リヒターさんによる“ドイツ料理講習会”が催されました。メニューは…

“Falscher Hase” …本当は兎の肉で作るそうですが、今回は牛と豚の合挽のミートローフ
“Rothl” …紫キャベツの煮込み
“Kartoffelbrei” …マッシュポテト
“Apfelkompott Zum Nachtsch” …リンゴのコンポート

の4品でした。



出来た料理を前にご満悦の皆さん

リヒター先生の料理をする手際の良さに感心しつつ、受講生の皆さんとおしゃべりしながら楽しく作業が進みました。どの品も、様々なリープや香辛料をふんだんに使い、焼き上がるに連れ、その香ばしい薫りが広がり、とても美味しく出来上がりました。講習会は試食会も含め、アツという間の楽しい3時間でした。

★11月に次回の料理教室を開催する予定です。

湘南日独協会 2002 年度活動予定

■8月24日(土) 会員懇話会 18:00～

会場 ホテル法華クラブ藤沢2Fローズルーム

■9月28日(土) 第23回例会 講演会

演題 最近のドイツ鉄道事情

講師 山田徹雄氏

会場 ホテル法華クラブ藤沢2Fロータスホール

■10月26日(土) 会員懇話会 18:00～

会場 ホテル法華クラブ藤沢2Fローズルーム

■11月23日(土) 第24回例会 講演会

演題 (未定)

講師 真野直司氏

会場 ホテル法華クラブ藤沢2Fロータスホール

■合唱をはじめませんか。

湘南日独協会では「ドイツ語講座」について「ドイツ料理教室」が始まり、隔月の例会だけでなく会員同士の友好の輪が広がってきています。先の5月例会でデュッセルドルフ男声合唱団の素晴らしい演奏を聴いて、会員の中から湘南日独協会でも有志で合唱をしたいという声が上がっています。同好の志はご連絡下さい。 水谷妙子 TEL 045-895-6845

■事務局のお手伝いして下さい方はご連絡を！

湘南日独協会では事務のお手伝いをして下さる方を探しています。可能な方は事務局までお電話下さい。

湘南日独協会会報 (Der Wind)

VOL 4. NO. 4. 通巻22. 発行 2002. 7. 28.

湘南日独協会

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in Shonan

事務局：〒251-0055 藤沢市南藤沢8-9 中丸ビル2F

TEL0466-26-3028 / FAX0466-27-5091

No. 22.

湘南日独協会 会報

Der Wind

(風)

湘南日独協会 第22回例会



夏期懇親会

ドイツフェア

今年もビールの美味しい季節となりました。湘南の夏を彩る湘南日独協会夏の懇親ビール祭り「ドイツフェア」がドイツ料理とドイツの音楽とともに楽しく繰り広げられます。

日時 2002年7月28日(日) 午後6時開場。

会場 湘南ホテル

出演 楽団「シュヴァルベ」

湘南男声合唱団

藤沢フォークダンスクラブ

楽しく過ごした例会 「Düsseldorfの思い出を歌に託して」

会員 森長京子

5月の例会で「Düsseldorfの思い出を歌に託して」と題してDüsseldorf男声合唱団のTalk Concertが開かれました。

始めに日本でよく唱われているドイツの歌、菩提樹、霞か雲か、野ばら、別れ、樅の木の5曲、会員の皆様も合唱団の皆様の歌声と一緒に心の中で口ずさんだことと思います。

次に喜嶋安彦氏(現、三菱瓦斯化学)のトーク。
再び演奏でラインの歌3曲。

迫力満点のchorで心の中に深くしみ込んだ歌声でした。集まった会員全員を充分楽しませせて下さった催しでした。

聞くところによりますとDüsseldorfとは12世紀頃にDüssel河という小さな河のあるdorf (Rhein河だけがDüsseldorfにあるのではありません)からこの名前が出てきた由、今はMesseとModeの町として「小さなパリ」とも呼ばれているそうです。

Düsseldorfは「日本企業のヨーロッパ基地」として名高くなったようです。1950年代がその揺籃期であったようで、一時期は何と8,000人もの日本人がこの街に駐在していたとか。Düsseldorfを起点としてEssen, Duisburg, Köln, Bonn等の主要都市へ車で2時間程度で行ける距離にあることも企業にとっては魅力ある都市であると言えるのではないのでしょうか。

今回の例会で演奏して下さいましたMännerchorは1991年に創立され、今年で11年目を迎えたと言いました。10年一昔と申しますが10年以上もこうした活動を続けてこられたことが亦素晴らしいと思います。

Hoffentlich kann dieser Männerchor lange dauern.



デュッセルドルフ
男声合唱団の演奏
於「ニュー向洋」
2002. 5. 25.

期待以上に素晴らしかったハーモニー

「デュッセルドルフの思い出を歌に託して」

会員 山田芳弘

当日は絶好の五月晴れヨットやウインドサーフィンの輝く海にいささかの未練を残して会場に入りました。おなじみのデュッセルで活躍されまたは現在も頑張っておられる方々が現地で結成された合唱団とのご紹介で大変興味を持っておりました。私事で申し訳ありませんが私自身も写真工業関連で40年以上ドイツとの密接な取引関係にあり現在でも毎日コンタクトがあります。ただ私の場合は伝統的にデュッセルのライバル(?)、ハンブルグをベースにしておりますが、現地在勤の方々とのお付き合いを通じ日本人社会の雰囲気もよく存じております。さて、湾岸戦争当時の合唱団結成のエピソードや練習時間を捻出する苦労話などたいへん興味深く共感を持って伺いました。ドイツの文化の中での生活と日本とのビジネスを8時間の時差の中で調和させることは本当にご苦労が多いと思います。

演奏は期待以上のすばらしいハーモニーでした。個性的な各パートのソロも印象的でした。皆さんの顔もビジネスの時とは全く違う。聞けばメンバー

は必ずしも大学のグリークラブなどの経験者ではないとのこと、あの時間に振り回される勤務の中よく練習されたものだというのが毎日ドイツあて何通もの督促のメールを出したり電話をかけたりしている立場からみての率直な感想でした。日本で歌われているドイツの歌、ドイツ/ラインの歌と構成も私たちにはまさにおなじみの曲目ばかりで楽しいものでした。その折も地元での合唱コンサートを通じて現地での交流のお話がありましたが音楽は相互理解の早道との感想を深くしました。私の付き合いの中でも趣味は音楽というドイツの人も多く日本の取引先の同好の人たちとの間でトリオ、カルテットなど出来る範囲の小コンサートをプランしたりしています。このような交流はビジネスのみにとらわれない活動としての今後特に必要と思います。デュッセルドルフ男声合唱団の今後にこの意味でも期待したいと思います。

喜嶋安彦氏のお話にもまさに共感を持って拝聴いたしました。海外に生活するということはまさにそのような話題に満ちています。お話のようなエピソードが笑い話にならなくなるときこの国のいい意味でもあまり良くない意味でもインタナショナルリゼーション、グローバルリゼーションが進んだということでしょうか。私たちもドイツの人たちお互いの文化をわかりあえるよう更に心がけたいと思います。